

第 70 回全国植樹祭愛知県実行委員会第 2 回総会議事録

- 開催日時 平成 29 年 3 月 27 日（月）16：00～16:50
- 場所 愛知県三の丸庁舎 8 階 大会議室
- 出席者 別添名簿のとおり
- 内容
 - 1 あいさつ
大村会長より出席者に向けて挨拶。
 - 2 平成 28 年度の経過について
平成 28 年度の動き及び記念事業の開催状況について説明。
 - 3 第 70 回全国植樹祭大会テーマについて
平成28年12月19日に決定した大会テーマについて説明。
 - 4 専門委員会の開催状況について
大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会、式典演出専門委員会、植樹樹種専門委員会、木材利用専門委員会の開催状況について説明。
 - 5 議事
 - (1) 第 70 回全国植樹祭会場計画について
原案どおり第 70 回全国植樹祭会場計画を承認。
 - (2) 平成 29 年度事業計画及び収支予算について
原案どおり平成 29 年度事業計画及び収支予算を承認。
 - (3) 第 70 回全国植樹祭広報大使及び大会イメージソングについて
原案どおり第 70 回全国植樹祭広報大使及び大会イメージソングを承認。
 - (4) 企業等協賛について
原案どおり企業等協賛を承認。

以上

【配布資料】

○ 次第

○ 出席者名簿

○ 配席図

資料 1 平成 28 年度の経過について

資料 2 第 70 回全国植樹祭大会テーマについて

資料 3 専門委員会の開催状況について

資料 4 第 70 回全国植樹祭会場計画について

資料 5 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

資料 6 第 70 回全国植樹祭広報大使及び大会イメージソングについて

資料 7 企業等協賛について

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会第2回総会

次 第

日 時 平成29年3月27日(月)
16時から16時50分まで
場 所 三の丸庁舎8階 大会議室

1 開会

2 挨拶

3 報告

【報告1】平成28年度の経過について (資料1)

【報告2】第70回全国植樹祭大会テーマについて (資料2)

【報告3】専門委員会の開催状況について (資料3)

4 議事

【議案1】第70回全国植樹祭会場計画について (資料4)

【議案2】平成29年度事業計画及び収支予算について (資料5)

【議案3】第70回全国植樹祭広報大使及び大会イメージソングについて (資料6)

【議案4】企業等協賛について (資料7)

5 その他

6 閉会

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	会長	愛知県	知事	大村 秀章	出	—
	学識 経験者※	名古屋大学大学院 生命農学研究科	教授	戸丸 信弘	欠	—
		名古屋大学大学院 生命農学研究科	准教授	山崎真理子	欠	—
		日本福祉大学健康科学部 福祉工学科	教授	福田 秀志	欠	—
	経済※	愛知県経営者協会	会長	清水 順三	出	総務・企画部 部長 山本 衛
		愛知県商工会議所連合会	会長	山本 亜土	欠	—
		愛知県商工会連合会	会長	森田 哲夫	出	専務理事 伊藤 雅則
		愛知県商店街振興組合連合会	理事長	坪井 明治	出	専務理事兼事務局長 鍋澤 宗之
		愛知県信用金庫協会	会長	近藤 実	出	事務局長 神谷 佳明
		愛知県中小企業団体中央会	会長	鶴田 欣也	欠	—
		中部経済同友会	代表幹事	種村 均	欠	—
		一般社団法人中部経済連合会	会長	豊田 鐵郎	欠	総務部 担当部長 亀井 勝彦
		一般社団法人名古屋銀行協会	会長	山名 毅彦	出	専務理事 野原 強
		名古屋市商店街振興組合 連合会	理事長	坪井 明治	欠	専務理事・事務局長 社本 謙
		公益社団法人日本青年会議所 東海地区愛知ブロック協議会	会長	横山 栄介	欠	—
	農林水産・建設※	愛知園芸商組合	理事長	蟹江 孝信	出	—
		愛知県花き温室園芸組合連合 会	会長	中神 享三	出	副会長 中神 文臣
		愛知県花き市場組合	理事	吉田 豊	出	—
		愛知県漁業協同組合連合会	代表理事会長	吉戸 一紀	出	代表理事常務 和出 隆治
		愛知県経済農業協同組合 連合会	代表理事理事長	近藤 房夫	出	—
		一般社団法人愛知県建設業 協会	会長	徳倉 正晴	出	事務局長 大西 克義
		愛知県森林協会会長	会長	三浦 孝司	出	—
		愛知県森林組合連合会	代表理事会長	村松 幹彦	出	—
		一般社団法人 愛知県造園建設業協会	会長	中原 敏明	出	専務理事 辻岡 哲夫
		公益社団法人愛知建築士会	会長	廣瀬 高保	出	専務理事 豊田 栄一
		愛知県内水面漁業協同組合 連合会	会長	峰野 修	欠	—
	愛知県農業協同組合中央会	会長	吉田 濱一	出	—	
一般社団法人愛知県木材組合 連合会	会長	鈴木 和雄	出	—		

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	農林水産・建設※	公益社団法人愛知県緑化推進委員会	理事長	森岡 仙太	出	—
		愛知県緑化木生産者団体協議会	会長	小林 功	欠	—
		愛知県林業種苗協同組合	理事長	市川 幸宏	出	—
		愛知豊明花き流通協同組合	理事長	永田 晶彦	出	—
		愛知名港花き卸売事業協同組合	理事長	井上 稔	出	—
		名古屋生花小売商業協同組合	理事長	川島 悦雄	欠	—
		一般社団法人日本木工機械工業会	理事長	井本 希孝	出	—
	市民・福祉・教育※	愛知県公立高等学校長会	会長	笹尾 幸夫	出	—
		愛知県私学協会	会長	石田 正城	出	—
		社会福祉法人愛知県社会福祉協議会	会長	大沢 勝	欠	—
		愛知県小中学校長会	会長	加藤 千博	出	副会長・山吹小学校長 山内 敏之
		愛知県女性団体連盟	会長	加藤 愛子	出	—
		愛知県特別支援学校長会	会長	鈴木 眞二	出	—
		一般社団法人ガールスカウト愛知県連盟	連盟長	市川 春代	出	—
		一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟	理事長	永井 淳	欠	事務局長 浅井 裕己
	観光・運輸※	一般社団法人愛知県観光協会	会長	河野 英雄	出	専務理事 河村 保
		愛知県タクシー協会	会長	青木 良浩	出	専務理事 山田 透
		一般社団法人愛知県トラック協会	会長	小幡 銀伸	欠	—
		公益社団法人愛知県バス協会	専務理事	古田 寛	欠	—
		中部国際空港株式会社	代表取締役社長	友添 雅直	出	取締役 近藤正人
		東海旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	柘植 康英	欠	—
		名古屋タクシー協会	会長	天野 清美	出	常務理事 太田 慶祐
		名古屋鉄道株式会社	代表取締役社長	安藤 隆司	欠	—
	国・自治体等	林野庁中部森林管理局	局長	新島 俊哉	欠	名古屋事務所 副所長 千葉 求
		愛知県市長会	会長	鈴木 淳雄	欠	—
		愛知県町村会	会長	久野 時男	欠	—
		名古屋市	市長	河村たかし	出	—
		尾張旭市	市長	水野 義則	出	—

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名	
	所属	職名	氏名			
委員	国・自治体等	愛知県議会	議長	鈴木 孝昌	欠	—
		愛知県議会農林水産委員会	委員長	安藤 正明	出	—
		愛知県	副知事	森岡 仙太	出	—
		愛知県政策企画局	局長	平岩 昭彦	出	—
		愛知県総務部	部長	篠田 信示	出	—
		愛知県振興部	部長	植田 昌也	出	—
		愛知県県民生活部	部長	川島 毅	出	—
		愛知県環境部	部長	菅沼 綾子	出	—
		愛知県健康福祉部	部長	長谷川 洋	出	健康福祉総務課 課長 古田 正典
		愛知県産業労働部	部長	吉澤 隆	出	部次長 森田 利洋
		愛知県農林水産部	部長	加藤 正人	出	—
		愛知県農林水産部 農林基盤局	局長	山本 信介	出	—
		愛知県建設部	部長	市川 育夫	出	—
		愛知県教育委員会	教育長	平松 直巳	出	—
		愛知県警察本部	本部長	柘田 好一	出	—
愛知県県有林事務所	所長	園原 薫	出	—		
監事	愛知県	会計管理者	河隅 彰二	欠	—	
	尾張旭市	会計管理者	太田 浩	欠	—	
参与※	愛知県ケーブルテレビ協議会	会長	森 雅博	出	—	
	株式会社朝日新聞社 名古屋本社	名古屋本社 代表執行役員	坂本 弘子	出	統括センター長 鈴木 裕	
	伊勢新聞社名古屋支社	名古屋支社長	佐飛 宏尚	欠	—	
	株式会社エフエム愛知	代表取締役社長	本多立太郎	出	常務取締役 加藤 義智	
	株式会社花卉園芸新聞社	代表取締役	浅田 秀逸	欠	—	
	株式会社岐阜新聞社 名古屋支社	執行役員 名古屋支社長	伊藤 伸久	欠	—	
	一般社団法人共同通信社 名古屋支社	名古屋支社長	井原 康宏	出	—	
	株式会社建通新聞社 中部支社	常務取締役 中部支社長	高木 秀彰	出	滝 麻友	
	株式会社産業経済新聞 大阪本社編集局中部総局	総局長	櫻井 大輔	欠	—	
	株式会社時事通信社 名古屋支社	支社長	熊木 保幸	欠	—	

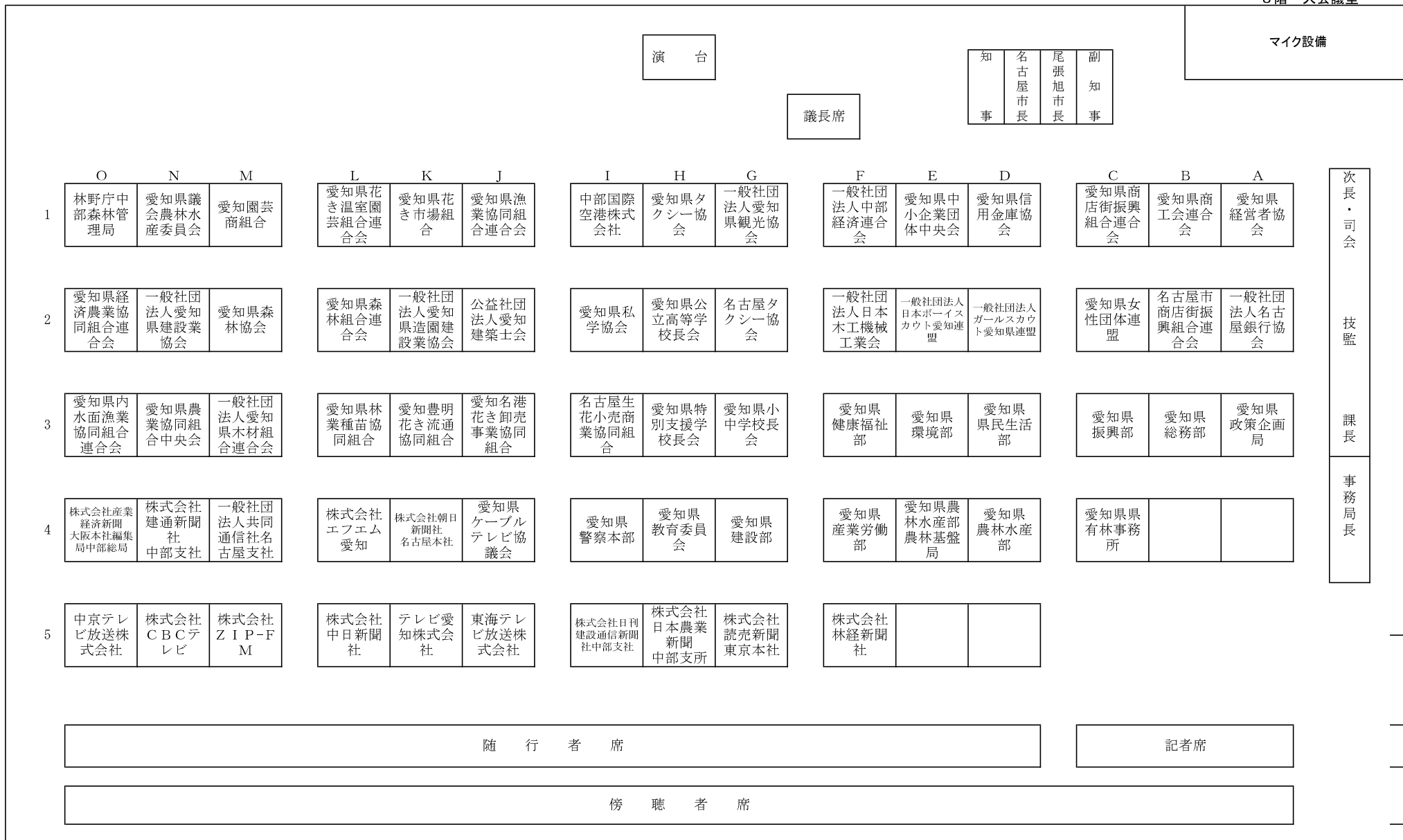
第70回全国植樹祭愛知県実行委員会 第2回総会 出席者名簿

区分	構 成 員			出欠	代理出席者 職名・氏名
	所属	職名	氏名		
参与※	株式会社静岡新聞社 名古屋支社	支社長	杉山 都彦	欠	—
	株式会社ZIP-FM	代表取締役社長	稲葉 功	出	—
	信濃毎日新聞株式会社 名古屋支社	名古屋支社長	田中 泰憲	欠	—
	株式会社CBCテレビ	代表取締役社長	林 尚樹	出	報道・番組総局事業系事業部 専任部長 北島 徹也
	株式会社CBCラジオ	代表取締役社長	升家 誠司	欠	—
	中京テレビ放送株式会社	代表取締役社長	小松 伸生	出	総務部長 柄澤 正也
	株式会社中日新聞社	代表取締役社長	小出 宣昭	出	事業局長 加藤 宏幸
	株式会社中部経済新聞社	代表取締役社長	永井 征平	欠	—
	テレビ愛知株式会社	代表取締役社長	高橋 美夫	出	総務部副部長 伊藤 弘道
	東海テレビ放送株式会社	代表取締役社長	内田 優	出	総務部 担当部長 立石 忠利
	株式会社東海日日新聞社	代表取締役社長	白井 収	欠	—
	東海ラジオ放送株式会社	代表取締役社長	小畑 耕一	欠	—
	名古屋テレビ放送株式会社	代表取締役社長	横井 正彦	欠	—
	株式会社日刊建設工業新聞社 名古屋支社	取締役支社長	坂川 博志	欠	—
	株式会社日刊建設通信新聞社 中部支社	支社長	水谷 幸二	出	—
	株式会社日刊工業新聞社 名古屋支社	執行役員 名古屋支社長	四釜 広幸	欠	—
	株式会社日刊木材新聞社	代表取締役社長	岡田 直次	欠	—
	株式会社日本経済新聞社 名古屋支社	常務執行役員 名古屋支社代表	宮本 明彦	欠	—
	株式会社日本農業新聞 中部支所	中部支所長	徳永 章	出	—
	日本放送協会名古屋放送局	名古屋放送局長	中野谷公一	欠	—
	株式会社東愛知新聞社	代表取締役	本多 亮	欠	—
	株式会社毎日新聞社 中部本社	常務執行役員 中部代表	小泉 敬太	欠	—
	株式会社木材工業新聞社	代表取締役	片桐 峯生	欠	—
	株式会社読売新聞東京本社	執行役員 中部支社長	足達 新	出	中部支社次長 岡田 悟
株式会社林経新聞社	代表取締役	橋爪 良和	欠	—	

※ のついている区分は、「五十音順」で記載

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会第2回総会 配席図

日時 平成29年3月27日(月)
16:00~16:50
場所 愛知県三の丸庁舎
8階 大会議室



出入口

出入口

【報告 1】

平成 2 8 年度の経過について

1 平成 2 8 年度の動き

- 7 月 4 日 第 70 回全国植樹祭愛知県実行委員会設立総会
- 8 月 1 0 日 (公社) 国土緑化推進機構理事会 (以下「機構」という) にて、第 70 回全国植樹祭が愛知県で開催されることが正式に決定
- 8 月 1 8 日 全国植樹祭推進室の設置
- 8 月 2 3 日 金山総合駅にて、全国植樹祭開催決定 P R キャンペーンの実施
- 大会テーマの公募開始
- 1 1 月 2 5 日 機構との協議により、第 70 回全国植樹祭の会場が「愛知県森林公園」、荒天会場が「尾張旭市文化会館」に正式に決定
- 1 2 月 1 9 日 大会テーマ決定 (応募作品数 8 9 9 点)
- 1 月 3 1 日 第 70 回全国植樹祭愛知県実行委員会第 1 回幹事会

2 記念事業の開催状況について

- 10月19日から11月17日の間に尾張旭市内の全小中学校（12校）において苗木のスクールステイを実施し、1,500ポットの苗木を育成。



スクールステイの状況

【報告2】

第70回全国植樹祭大会テーマについて

1 第70回全国植樹祭大会テーマ

「木に託す もり・まち・人の あす・未来」

2 選定の経緯

応募作品899点のなかから、大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会において選定され、機構との協議の結果、平成28年12月19日に決定した。

3 作者

おおいだ ゆうさく
大井田 雄策さん（東京都大田区）

4 作品への思い

開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることであり、今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで、明るい明日や未来をつくっていきたい。

【報告 3】**専門委員会の開催状況について****1 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会について****(1) 付託事項**

大会テーマ、シンボルマーク及びポスター原画の募集及び審査・選定に関すること

(2) 会議の開催状況**○ 第 1 回会議（大会テーマを審査）**

開催日 平成 28 年 11 月 14 日

内容等 事前に一次審査、二次審査を行い、63 点に絞り込んだ上で、三次審査として会議を実施。別紙のとおり最優秀賞及び優秀賞 3 点を選定した。

○ 第 2 回会議（マスコットキャラクター及びその愛称を審査）

開催日 平成 29 年 3 月 21 日

内容等 事前に一次審査、二次審査を行い、13 点に絞り込んだ上で、三次審査として会議を実施。最優秀賞及び優秀賞 3 点の案を選定した。現在、著作権等の調査を実施中。

(3) 会議に至るまでの経緯

【大会テーマ】

- 一次審査 対象：899 点→ 結果：899 点
明らかに審査基準を逸脱している作品を除外する審査を委員長が実施。その結果、除外作品なし。
- 二次審査 対象：899 点→ 結果：63 点
委員に応募作品一覧を送付し、各委員 10 点選出。
- 三次審査（第 1 回会議） 対象：63 点→ 結果：4 点
第 1 回会議を実施し、最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点を選定

【マスコットキャラクター及びその愛称】

- 一次審査 対象：855 点→ 結果：846 点
明らかに審査基準を逸脱している作品を除外する審査を委員長が実施。その結果、募集を行った内容である愛称の記載がなかった 9 作品を除外した。
- 二次審査 対象：846 点→ 結果：13 点
委員に応募作品一覧を送付し、各委員 2 点選出。
- 三次審査（第 2 回会議） 対象：13 点→ 結果：4 点
第 2 回会議を実施し、最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点の案を選定

最優秀賞（大会テーマ）及び優秀賞について

（１）最優秀賞（大会テーマ）

内容	木に託す もり・まち・人の あす・未来
作品への 想い	<ul style="list-style-type: none"> ・開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることである。 ・今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで明るい明日や未来をつくっていきたい。
受賞者	<small>おおいだ ゆうさく</small> 大井田 雄策氏（東京都大田区）

（２）優秀賞

内容	緑で築く、未来の森林と都市づくり
受賞者	<small>さいとう よしひろ</small> 齋藤 慶寛氏（東京都文京区）

内容	きらめく緑 人・未来
受賞者	<small>かねた のりこ</small> 金田 則子氏（群馬県高崎市）

内容	響きあう まちと森 活かしあう 人との
受賞者	<small>はまだ のりか</small> 濱田 典佳氏（富山県黒部市）

※ 表彰について

入賞者については、平成29年5月に実施する愛知県植樹祭において表彰を行う予定。また、最優秀賞受賞者は、第70回全国植樹祭の式典において表彰する予定。

2 式典演出専門委員会について

(1) 付託事項

式典行事の演出・内容等の決定に関すること。

(2) 会議の開催状況

○ 第1回会議

開催日 平成28年11月11日

内容等 式典演出構成について検討を行った。

○ 第2回会議

開催日 平成29年1月23日

内容等 第1回会議を踏まえた式典演出構成について審議を行った。

詳細は別紙「式典演出専門委員会第2回会議の結果について」のとおり。

式典演出専門委員会第2回会議の結果について

○ 式典演出計画について

式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容/演出
プロローグ	— 「過去」の誇り— “あいち 木 と ものづくりヒスト リー”	○ 愛知県の豊かな自然や愛知県が誇るものづ くりの技術、伝統文化、農林水産業等を紹介 ○ 「木材を利用する技術」から発展した愛知 のものづくりの歴史を表現
記念式典	— 「いま」の思い— もり まち 森林と都市をつなぐ “ 木に託す言の葉の 大樹メッセージ”	○ 天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、 緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開 催県へのリレーセレモニー等 ○ 成熟したもり森林を伐採・利用し、植樹をして 「もり森林づくり」や「まち都市づくり」を進めてい くことの重要性を表現し、全国に発信
エピローグ	— 「未来」への誓い— 未来に向けたもり森林と まち都市の“ 架け橋” を創 る木づかいへの誓い	○ 木づかいによる「まち都市づくり」の未来を、 若い世代が祝祭感豊かに表現

※ 第70回全国植樹祭開催理念

「私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力の
ある「もり森林づくり」と「まち都市づくり」を進めていきます。」

3 植樹樹種専門委員会について

(1) 付託事項

- 植樹行事における会場及び樹種の選定に関すること。

(2) 会議の開催状況

○ 第1回会議

開催日 平成28年7月21日（木）

内 容 天皇皇后両陛下のお手^{てう}植え・お手^{てま}播き樹種、一般招待者の植樹のコンセプト及び植樹樹種、植樹会場について検討を行った。

○ 第2回会議

開催日 平成28年8月23日（火）

内 容 天皇皇后両陛下のお手^{てう}植え・お手^{てま}播き樹種、一般招待者の植樹のコンセプト及び植樹樹種、植樹会場について審議を行った。

詳細は別紙「植樹樹種専門委員会第2回会議の結果について」のとおり。

植樹樹種専門委員会第2回会議の結果について

1 両陛下お手植え、お手播き樹種について

- 両陛下のお手植え、お手播き樹種は、愛知県にゆかりのある樹種から候補樹種を選定。※ 候補樹種については別表1参照

2 一般招待者植樹のコンセプトについて

- 第70回全国植樹祭の開催理念である、「私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。」に基づき、有用広葉樹や多種多様な樹種を植栽し、人と自然が織りなす里山林を創出する。
- この地域に生育している樹種で、原則として現在愛知県内で生育している樹木から採取した種子等から育成した苗木を植樹する。

3 一般招待者の植樹樹種について

- 一般招待者の植樹樹種については、この地域に生育する樹種の中から候補樹種を選定。※ 候補樹種については別表1参照

4 植樹会場について

- 植樹会場については、図1の3箇所を「植樹会場候補地」として選定。

お手植え、お手播き樹種及び一般招待者の植樹樹種の候補について

1 両陛下お手植え樹種候補（6種）

天皇陛下	スギ（あいちニコ杉）  県の林業を支える樹種 （少花粉スギ）	クスノキ  名古屋市、尾張旭市の木	フモトミズナラ  東海丘陵要素植物
	皇后陛下	シデコブシ  東海丘陵要素植物	ヒトツバタゴ  東海丘陵要素植物

2 両陛下お手播き樹種候補（4種）

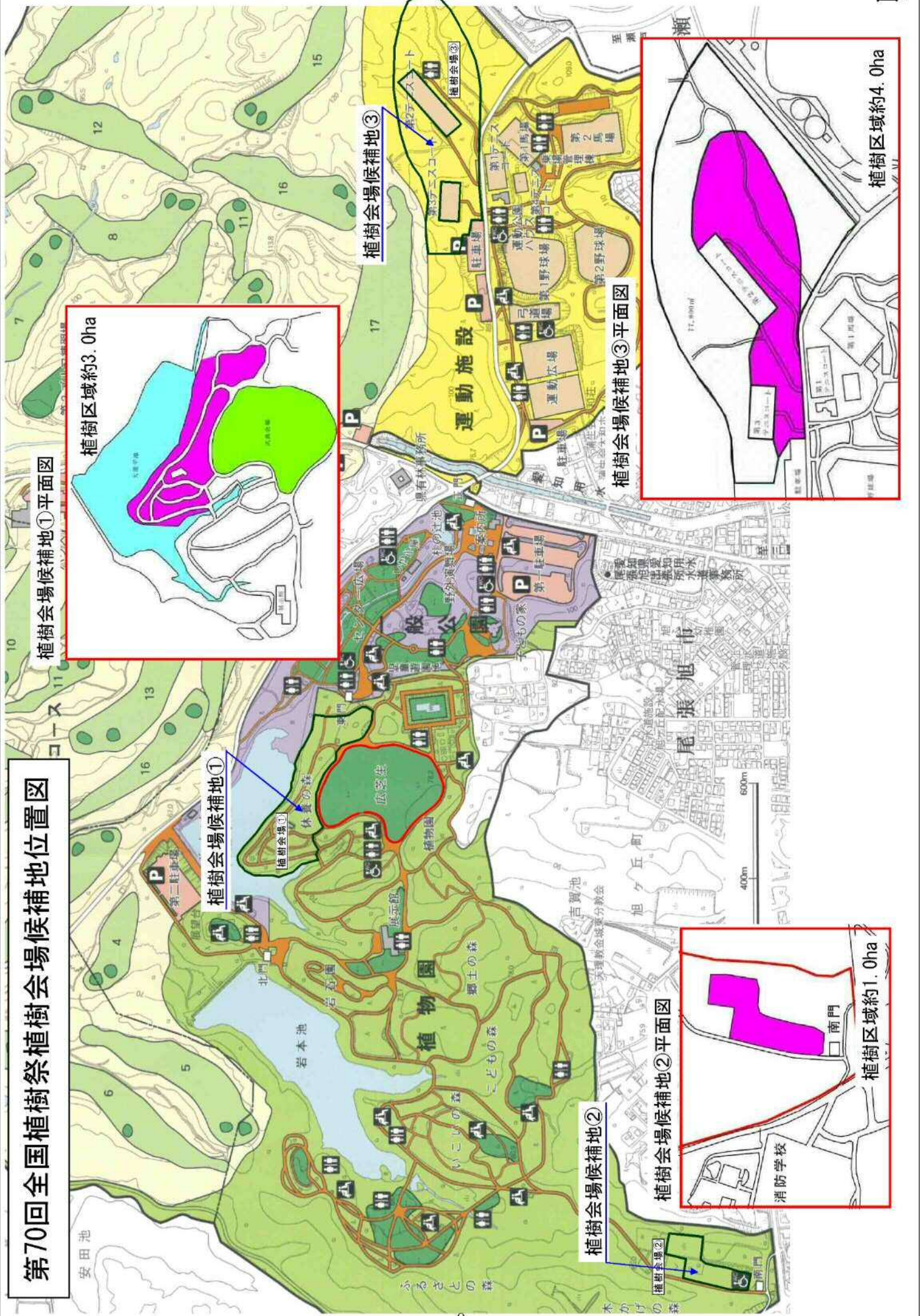
天皇陛下		皇后陛下	
ヒノキ  県の林業を支える樹種	アベマキ  県の自然林を 代表する樹種	ハナノキ  県の木 （東海丘陵要素植物）	マメナシ  東海丘陵要素植物

※ 東海丘陵要素植物：愛知県を中心に、三重県から静岡県等伊勢湾をとりまく地域に生育する主に固有（分布が数地点に限定）または準固有（分布が地域的に限定）の植物をいう。

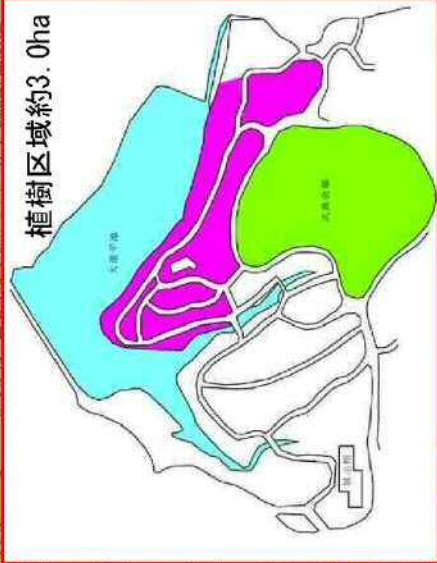
3 一般招待者の植樹樹種候補（33種）

区分		種数	樹種名
高木	落葉	15	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクギ、エドヒガン、ウミスズクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモジ、エゴノキ、シデコブシ、ハナノキ、ヒトツバタゴ、サクラハハノキ
	常緑	9	アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、クマガネチ、ヤマモモ、ソコ
低木	落葉	6	マンサク、コバノミツバツツジ、ムラサキシブ、コバノカマスミ、カマスミ、タニウツギ
	常緑	3	アオキ、アセビ、ヤシヤシボ

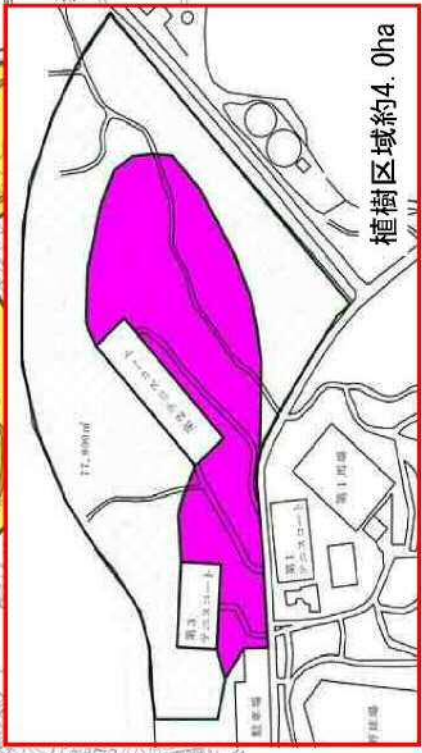
第70回全国植樹祭植樹会場候補地位置図



植樹会場候補地①平面図



植樹会場候補地③平面図



植樹会場候補地②平面図



4 木材利用専門委員会について

(1) 付託事項

式典会場等の木材利用方法に関すること。

(2) 会議の開催状況

○ 第1回会議

開催日 平成28年12月12日（月）

内容等 式典会場等での県産木材の利用計画について検討を行った。

【全国植樹祭会場等における県産木材利用計画一覧表】

NO	施設名
1	新案内所
2	お野立所
3	特別招待者席
4	招待者歓迎入場ゲート装飾
5	三旗掲揚塔
6	進行台、シンボル台
7	御机、お手播き箱、鍬、枡等
8	椅子(特別招待者)
9	椅子(一般招待者)
10	プランター
11	式典会場及びおもてなし広場等の装飾等
12	その他

【議案 1】**第 70 回全国植樹祭会場計画について****1 式典会場について**

式典会場については、植物園内にある広芝生を使用することとし、1 万人程度の規模で開催できるよう、一部を整備することとする。

2 おもてなし広場について

おもてなし広場については、一般公園内にあるセンター広場を使用する。

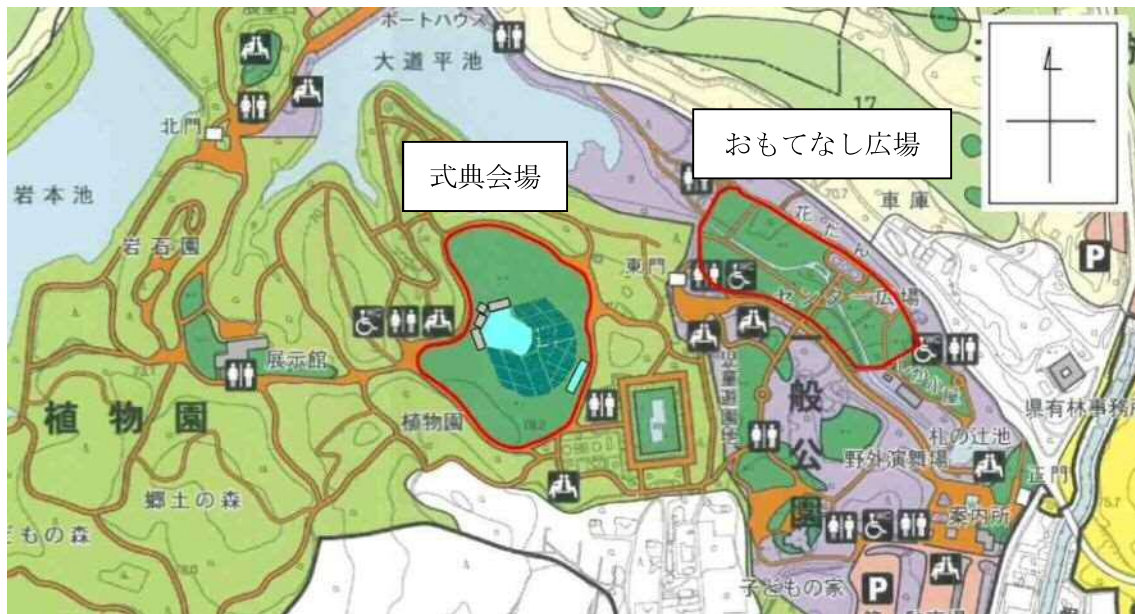
※ おもてなし広場とは、招待者が式典開始までの時間や式典終了後からバスが出発するまでの時間を過ごしていただく区域で、愛知県の紹介や物産の販売、湯茶接待等を行います。



平成 27 年開催石川県のおもてなし広場の様子

3 会場計画

会場配置図



式典会場イメージ図



【議案2】

平成29年度事業計画及び収支予算について

1 平成29年度事業計画

第70回全国植樹祭の開催に向けて、次の事業を実施する。

(1) 会議の開催

実行委員会総会、幹事会及び専門委員会を開催する。

(2) 基本計画の策定

基本構想に基づき、基本計画の策定を行う。

(3) 会場内整備

お野立て所等の検討及び設計を行う。

(4) 記念事業の実施

苗木のスクールステイ、あいち“言の葉”キャラバン（市町村イベントでのPRキャラバン実施）、地域植樹イベント等を実施する。

(5) 広報の実施

PRグッズの作成や広報誌の配布等を行う。

あいち“言の葉”キャラバンについて

第70回全国植樹祭の成功に向け、開催機運の醸成と開催理念や大会の基本方針について、県民の皆様幅広く普及啓発するため、記念事業の一つとして、県内全市町村を対象に、下記のとおり「あいち“言の葉”キャラバン（案）」を実施する計画です。

記

1 記念事業名

あいち“言の葉”キャラバン（案）

2 事業内容

木の種をモチーフにした広報車（FUTURE SEED号）が、各市町村で行われている農林・環境イベント等に合わせて出張キャラバンし、全国植樹祭の開催をPRするとともに、県民の皆様から未来の木づかいや森林への思いに対するメッセージを集め、全国植樹祭式典の中で活用する。

3 実施期間

平成29年5月から平成31年3月まで

あいち“言の葉”キャラバン イメージ



未来の木づかいや森林への
想いを、メッセージに託す。

木の種をモチーフにした
“FUTURE SEED号”に投函



2 平成29年度収支予算

(1) 収入の部

(千円)

区分	29年度 予算額	28年度 予算額	摘要
1 負担金	49,954	11,010	愛知県からの負担金
2 繰越金	650	0	平成28年度決算見込み 残余额
合 計	50,604	11,010	

(2) 支出の部

(千円)

区分	29年度 予算額	28年度 予算額	摘要
1 実行委員会等開催 運営費	1,826	2,010	実行委員会、専門委員会等 の開催、事務局の運営等
2 開催事業費	33,198	9,000	基本計画策定、お野立て所 等の検討及び設計
3 広報啓発費	15,580	0	記念事業の実施、広報の実 施
合 計	50,604	11,010	

(参考) 第70回全国植樹祭関連平成29年度愛知県予算

(1) 会場基盤整備工事：89,167千円

式典会場の造成、植樹会場の測量や整備を実施する。

(2) 開催準備事務費：2,931千円

職員の旅費や事務用品等の購入費用。

【議案3】**第70回全国植樹祭広報大使及び
大会イメージソングについて****1 広報大使について****(1) 設置目的**

第70回全国植樹祭及び記念事業等の効果的な広報・PRを行うため、第70回全国植樹祭愛知県実行委員会に広報大使を設置する。

(2) 選任について

平成17年愛知万博の広報プロデューサー、平成18年(公社)愛知県緑化推進委員会緑の大使、あいち海上の森センター名誉センター長、平成22年生物多様性条約第10回締結国会議COP10広報アドバイザー、東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレム委員会委員等を歴任し、環境や緑、森林を始め幅広い分野に高い見識のある「マリ クリスティーヌ氏」とする。

2 大会イメージソングについて

(1) 制作目的

第70回全国植樹祭及び記念事業等の効果的な広報・PRを行うため、大会イメージソングを制作する。

(2) 制作者

岡村孝子（シンガーソングライター）

(3) 起用理由

- ・ 本県出身（岡崎市）であり、LOVEあいちサポーターズあいち音楽大使に就任している。
- ・ 清潔感があり、柔らかな歌声は、木と同様に私たちに癒しを与え、植樹祭のイメージにふさわしい。

【議案 4】**企業等協賛について****1 目的**

「第 70 回全国植樹祭」の開催機運を盛り上げ、県内外から集まる多くの方々の心に残る大会とするため、大会運営や広報活動などの大会経費に充てる協賛金等を広く企業や団体等から募る。

2 協賛の種類**(1) 資金協賛**

資金の提供による協賛

(2) 物品協賛

植樹・式典で使用する移植ごてや飲料水など各種グッズの提供による協賛

(3) その他協賛

機器等の無償貸与、運送・広告掲示などによる協賛

3 協賛の特典

第 70 回全国植樹祭に関する様々な場面において、協賛者名の掲載等を実施する。

第70回 全国植樹祭 あいち 2019

開催時期 / 平成31年春季 開催場所 / 愛知県森林公園

協賛のしおり



協賛のお手続き



申し込み



入金方法の御連絡



御入金や物品などの提供



募集期間
平成31年

4/30
まで

協賛について御協力をいただける場合は、下記にお申し出ください。

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会事務局
(愛知県農林水産部 農林基盤局 森林保全課 全国植樹祭推進室内)

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL. 052-954-6618 FAX. 052-951-7882
MAIL. shinrin@pref.aichi.lg.jp
www.pref.aichi.jp/soshiki/zenshoku/



第70回全国植樹祭愛知県実行委員会とは？

実行委員会の組織は、愛知県知事を会長とし、県議会、市町村、農林水産業、林業・経済・観光・環境・教育・報道機関など幅広い県内関係者で構成し、全国植樹祭の各種計画の検討・策定や大会準備・運営を担う委員会です。

全国植樹祭を「愛知の誇るものづくりの伝統と文化」、「森と緑づくりや木づかい」など、愛知県の魅力や取組を全国に発信する絶好の機会とし、愛知県ならではの特色ある、有意義な大会とするための準備を進めています。

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会



私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、
健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

平成31年春季に愛知県で開催されます、第70回全国植樹祭を成功へ導き、多くの方々の心に残る実のあるものとするには、
県民や企業、関係団体等の皆様の御協力がなくてはならないものと考えております。
この植樹祭の意義に御理解、御賛同いただき、温かい御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第70回全国植樹祭愛知県実行委員会
会長 大村 秀章

協賛の種類



1 資金協賛

資金提供による協賛
(複数年に分けての
協賛も可能です)

協賛金の使い道(例) 協賛金を活用して様々な取組を実施します。



お野立所・特別招待者席

愛知らしい“木づかい”を
デザインに取り入れたお野
立所・特別招待者席を制作
する費用として活用します。



地域植樹(記念事業)

全県的な全国植樹祭開催機
運の醸成と県民参加による森
林づくり活動を進めるため、
県内各地域で、地域の特性に
応じた植樹イベントの費用と
して活用します。



広報PR活動

全国植樹祭の開催を県民の
皆様に周知するため、県内
の主要駅(名古屋駅等)や
列車でPRを実施します。
協賛金はPRに使用するカウ
ントダウンボードやポスター
の購入費用として活用します。

2 物品協賛

植樹・式典で使用する
移植ごてや飲料水など
各種グッズの提供に
よる協賛

協賛物品等提供の例示

資金協賛のほか、出演者のリハーサルや式典当日用の飲食物、県産木材を使った箸などの
物品による協賛、広報キャラバン用の車の貸与、苗木の運搬、雑誌等への記事掲載
などによる協賛を募集しています。



協賛の特典

全国植樹祭会場やホームページ、記録誌等で協賛者名等が掲載されるなど、協賛規模に応じて様々
な特典が得られます。なお、協賛に係る費用は、損金又は必要経費として算入することができます。
税法上の取扱いの詳細につきましては、最寄の税務署へお問合せください。

募集期間 平成31年4月30日まで



第70回 全国植樹祭 あいち2019

協賛者特典一覧

区 分		500万円以上	300万円以上 500万円未満	100万円以上 300万円未満	50万円以上 100万円未満	20万円以上 50万円未満	1万円以上 20万円未満	協賛金 申込期限
1	ポスター、チラシ等への掲載 ポスター、チラシ等は交通広告(中刷、駅貼り、デジタルサイネージ等)に掲出します。  参考イメージ	協賛者ロゴ	○	○				平成30年 4月30日
		協賛者名	○	○	○			
2	植樹祭開幕直前特集への掲載 植樹祭開幕直前特集(中日新聞)別刷り2Pカラー 県内180万部+会場配布用1万部印刷 大会プログラム、メッセージ、関連催事など植樹祭の理念と見どころ等を紹介	協賛者ロゴ	○	○				
		協賛者名	○	○	○			
3	FUTURE SEED号(仮称)への掲載 木の種をモチーフにした「FUTURE SEED号」(仮称)への掲載。 県内全市町村で開催されるイベント等で県民の皆様は未来の木づかいや森林への想いに対するメッセージをFUTURE SEED号へ投函していただきます。  参考イメージ	協賛者ロゴ	○	○				
		協賛者名	○	○	○			
4	全国植樹祭式典等への特別招待者枠の確保 天皇皇后両陛下のお野立所のお野立所の両翼に設置される特別招待者席を確保します。 ※お野立所とは、天皇皇后両陛下が式典開催の際に御休息される所。  参考イメージ		○	○	○			
5	式典会場等設置物及び大会関係発行物への掲載 式典で映像を放映する大型スクリーン	協賛者ロゴ	○	○	○	○		平成31年 4月30日
		協賛者名	○	○	○	○	○	
	大会関係情報を掲載した定期刊行物	協賛者ロゴ	○	○	○	○		
		協賛者名	○	○	○	○	○	
	式典プログラム	協賛者ロゴ	○	○	○	○		
		協賛者名	○	○	○	○	○	
	会場に設置する協賛者ボード	協賛者ロゴ	○	○	○	○		
		協賛者名	○	○	○	○	○	
大会の様子を掲載した記念誌	協賛者ロゴ	○	○	○	○			
	協賛者名	○	○	○	○	○		
6	全国植樹祭ホームページへの掲載方法	協賛者ロゴ	○	○	○	○		
		協賛者HPへのリンク	○	○	○	○		
		協賛者名	○	○	○	○	○	
7	植樹祭支援呼称・マスコットキャラクター等の使用		○	○	○	○	○	
8	感謝状贈呈 (知事:200万円以上、副知事:100万円以上、農林基盤局長:100万円未満~20万円以上)		○	○	○	○	○	

【 留 意 事 項 】

① 協賛者の特典区分について

○印部分が協賛者特典となります。

② 「1～3」、「5」、「6」について

掲載については協賛金の多い順とし、同額の場合には申込み順とさせていただきます。

なお、金額と申込みが共に同じ場合は、五十音順に紹介させていただきます。

③ 植樹祭開幕直前特集への掲載について

協賛者ロゴの露出については、調整させていただく可能性があります。

④ 実行委員会発行の定期刊行物への掲載について

・定期刊行物は、平成29年度に1回、平成30年度に2回、平成31年度に1回発行する予定です。

・50万円未満の場合は、「そのほかにも、〇〇名の方から協賛をいただいております。」と紹介します。

⑤ 全国植樹祭ホームページの掲載について

掲載期間は、協賛金納入後(または協賛物品の納品後)から平成32年3月末までの予定です。

⑥ 上記「7」について

使用時期は、協賛金の納入後(または協賛物品の納品後)とします。

なお、マスコットキャラクター等は決定後に使用可能となります。